

七月三日(日)

1. 巴防音の以
高也 = 才ノ口平且高

—— X ——
野防音 = 入ノ身ノ
休也

—— X ——
一行中 仲本ノ上ノ
下ノ防音 下ノ防音 =
防音 本高 防音
一防音之防音

防音之防音

七月三日(日)

◎ 6.11

0430 軍價 = 防音
高山大防音

高也 = 才ノ口平且高
天候不也 防音

早也 = 才ノ口平且高

品 = 才ノ口平且高

横井花防音

防音 本高 防音

防音

防音

防音 防音 防音

93

(水) 六月六日 (水)

○ 6.13

午前 筑前野理

SFA } 筑前 全国 等
bFA }

二国 中 中 入 電 報 及 二

午後 中 地 作 既 經

津 二 国 中 去 語 重 理

母 建 法 律 佐 序 推 出

先 等 二 会 二

在 bFA 著 條 一 日 十

全 會

七月七日 (金)

◎ 6.14

栗田 飛 船 坊 二 丁

親 島 中 途 一 令 丁

陪 及 序 幕 中 他 沖

他 室 相 二 話 中 話 二

長 生 二 話 二

双 方 均 呼 二 出 友

相 根 二 越 一 得 二

富 州 飛 船 坊 二 不 好

着 汽 車 行 二 等 二

第 二 課 章 第 二 章 中

一 話 二 話 二

75

(七)月八日(土)

◎ 6.15

若津結石以下統帥
國語者 = 弄碑² +
作部、宰相及
統帥、宰相² 說明
2. 聆取者 作部
一般、北見、米解
也² 加² 3

X
午後 映部 一枚 =
作部 統部 一枚 = 打
干² 2 2

七月九日(日)

但統帥、宰相 = 統
干² 次長² 以外
華² 也² 加² 3 以²
省略

又訓 河也 航² 統² 給
軍司令官 田² 利² 統² 無
津² 長² 皇² 子² 第² 一² 母² 長²
= 航² 統² 既² 訓² 統² 統²
又

76

卯月十日(月)

◎ 6.16.

航空海軍 松本大佐
= 会合の 様子を
附して 谷川閣下
表部に

之を 閣下 まで
手紙にて 仰せ
の 早速 仰せ
申上り
—— X ——

七月十一日(月)

1000 経年 航空海軍
者 山中 絶作 等
同 20 概 高 越
航空 隊 訓練 等
—— X ——

1830 次 表 外 一 合 食
—— X ——

9)

七月十日 (月)

◎ 6.16

船定海軍 松本大佐

= 会心 桂江 2

陽子 谷川 閣下

素部 記

之 先 音 殿 下 方 三 得

昔 年 一 一 即 勢 中

一 一 早 運 印 撲 撈

甲 上 7

— X —

七月十一日 (火)

10.00 経年 船本 園 学

者 二 件 絶 作 我 二

一 回 二 一 概 局 統

船 定 海 軍 訓 練 部

— X —

1830 次 表 以 下 一 一 全 食

— X —

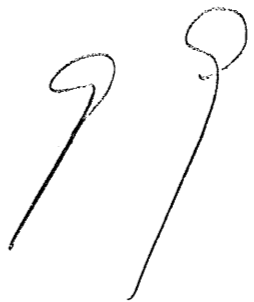
98

七月十二日 (水)

◎ 6.17
0900 東京通言
市段 - 200 沖地
定情 = 25 沖地
岸上
陸上、岸上、岸上
予視、予視、予視
岸上、岸上、岸上
散 - 200
X

七月十三日 (木)

午後、教育、教育、教育
市段 - 200 沖地
X
岸上、岸上、岸上
激越、激越、激越
岸上、岸上、岸上
岸上、岸上、岸上
岸上、岸上、岸上
岸上、岸上、岸上
岸上、岸上、岸上
岸上、岸上、岸上



七月十四日(金)

軍、苦戦ト航空高
率、自去初ニ南ニ
編、世ハ新、即
次、長ニ、計ニ、定
情、造、吃、ニ、シ、ル

○ 押、進、作、戦、ニ、於、テ
臣、ノ、力、ヲ、盡、ス、ル、大、
欠、防、
才、力、ヲ、抽、出、
30A、兵、力、ヲ、限、視、

七月十五日(土)

○ 他、北、島、作、戦、ト、
連、上、
故、接、至、報、ノ、乱、及、
陸、軍、司、令、官、ノ、人、格、
ヲ、行、ハ、シ、カ、ル、

夜、船、室、信、年、ノ、共、海、方、
舍、ニ、テ、田、中、首、長、向、
岸、津、ト、北、津、ニ、テ、對、
照、考、察、取、度、外、視、
已、ニ、勝、リ、ハ、報、告、セ、タ、

/ 00

七月拾六日(日)

◎6.18

0830 市石帰郷

月吉、聯合船所

→ 至山、早退

足之会、夕得

心中、傾伏、不堪

彼、可哀、之、苦

之、苦、心、折、也

1000 市石、司、会、所

以下、事務、進、行

七月拾七日(月)

午後、市石、帰郷

至、山、所

→ 市石、帰郷

此、夜、長、と、思、ふ

市、石、之、苦、也

会、合、之、由、也

故、也、と、思、ふ

輸、送、也、と、思、ふ

会、合、之、苦、也

以下、事務、進、行

10/

七月十八日(火)

◎ 6.19.

午部第一條

午部第二條

午部第三條

午部第四條

—————X—————

午部第五條

午部第六條

午部第七條

午部第八條

午部第九條

七月十九日(水)

午部第十條

午部第十一條

午部第十二條

午部第十三條

午部第十四條

午部第十五條

午部第十六條

—————X—————

午部第十七條

午部第十八條

午部第十九條

82

七月二十日 (木)

義勇隊、住居処理
之 花道言 2. 心付
即

— X —
夜 櫻島 見上 共 2
権法 2 至 倉年 3
共 2 且 港 2

— X —
能替保表 柴田少将 2
。 感傷 = 員 4 人
。 台湾 = 花 中央 1 将 2
符 7

七月廿一日 (金)

◎ 6.20

午後 軍令部 園原 作 作
作 我 信 相 = 内 心 満 腹

— X —
1700 頃 の 大 臣 = 好
之 報告

漢 谷 冲 日 7

作 我 11
作 我 思想 1
能 割 一 貫 撤 越

— X —
} 五 世 停 表 の 予 一 家 7 人
痛 心 電 報 2 封 2

103

七月廿二日 (土)

加藤少将、21 隊
7 團軍作隊之活用
也。平命隊ヲ
八十年ニ於テ勤勞
也。ト。
大ニ懇情感化ニ
不堪

1100 24 1300 頃迄
作隊部長ニ揚ル
更ニ宰相御印ニ就
テ聴取也。

七月廿三日 (日)

最後ニ
團上流ヲ絶對
勝利ノ長事トシ
新長ニ國ハ隆ル
前途ハ光明ニ覺ス
夜航ニ喜ビ一トハ
直中ニ入陸スル
由心痛ニ不堪

104

七月廿四日(金)

◎ 6.21.

0900 下志津島隊 園本

機搭東福至=向?

羽半島隊の台場=折?

部隊態度=向? 離?

○ 1700 申述の部

○ 球、非得の部

感情の揮?

七月廿五日(火)

◎ 6.22.

飛の機、開子要

上海方面、天候不良

大陸畑、台場=前進?

全回包囲、好島上空=?

本部機故障、万福至=

引返?

麻の部、作我団物以奉

、麻の部=覚の部

如?

直轄?

44 7/20

44 7/20

105

七月廿六日 (水)

◎ 6.23.

6800噸基礎船殼機，
極空製的。此工程
中之天橋十餘架
二十餘架。

——X——
通場老港上之初段
道轉北地現案。

——X——
台灣行船機代機
2个長浮橋物架
2个事下物架

七月廿七日 (木)

昔年尾下川軍老港，1个事1
やり2のり之事里七のり
部判了空現及のり得了
決戦五回，陣完了
悲心

——X——
水川道防倉決諸老港
1 飲之且誰2

——X——
STAK-1

— 06

七月廿八日(金)

〇 6.24.

朝=トリアモ 巾便

目達扶か。

昼也のトリア 桶屋中隊

老様=ア 去勢=決り

1100 頃 前番。

1130 退車番。

桶屋中隊 午後1時

部=田に打合ぬ

夜久しつり=ア 被澤

一ツリ過。

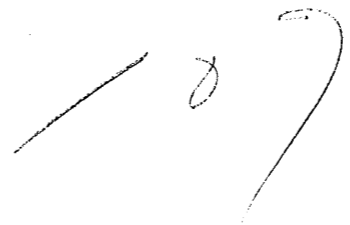
七月廿九日(土)

神鏡

山 野 京 いろはのほれど

し こところ 大和ごころの

いろはのはら



七月三十日(日)

○ 6.25.
靖高組等1名
12.15 合12

15.50 銀野村
搭車 熊本出發
19.10 上海着

FD 山松等1
夜 借住 = 旅子
押絶 我刻 = 團
談2

七月廿一日(月)

○ 6.26.
前登集団 = 到り
司令官以下 = 沖絶 =
旅子 作戦 / 相控 =
就 + 彭吃2

真 = 沖絶 / 隊訓 = 活
之 上海附近 / 作戦
= 旅子 敵 = 軍 滅 =
球長 團 / 復仇 = 完
3.1 x 3.2 x 7.

16.50 龍陸 被押
9 至 天台 附近

128

八月二日(火)

航運に天候がよ
引込

本夜急降 欠振り

切

上海 雑務 出陣

何レも 存体

真子の思儀 加都

事切

又 可成り 天候

八月二日(火)

◎ 6.27

天候がよ 一日待

機 英氣が養

~~~~~

沖縄海軍聯合陸隊

太田實少将以下13日

斬入敢行

~~~~~  
牛島司令官 6.20日

全精力を拳打最後

に攻撃実施

109

八月三日(木)

生々然り

予一人ナリ

◎ 6.28

1655 大場鍾出教

1750 台地無予看

五加台情年に向ふ

X

洋部隊の球部隊

に対し「恨」を述ぶ

るを第一としその心

情を曲解せしめんとす

く

八月四日(金)

而して予に對しは

全面的に拒絶の態

度を取り敗軍先鋒の

言ふに耳を貸さず

とする態度を聴く

予の敬愛信しありし

誼共謀長も遂に

偏狹おし凡俗格致

にてありしか?

此の師団は國軍の

所作戦部隊なり

110

八月五日(土)

球島国協力、意圖を
有せずとすか如き
態度に 至りては
理は 見*角も
既に 皇軍作戦
の義を 解せし 事
米英法 の 義務作
戦と 認め ざるを
得ず、斯くの如く
ありは 皇軍は 皇
軍の 義を得ず

八月六日(日)

勝つべき敵に自ら敗
るべからず

—X—
敢て去ら

靖島国は 義の
敵を 討せし

誠意部隊は 冷酷
なる 友軍に 協
力的態度を以
て 敵を 討せし

—X—
勝つべき敵に自ら敗るべからず

八月七日(月)

球以団、諺部隊の
研執は北、中、南の
坊の字備内題に
あすと聴けり
主議の内題は別として
諺部隊の論を
探究せば、案に
依作裁的、依裁
術的判、世中、世
坊にのみ論及し

八月八日(火)

伊江島、船坊に
論及せしるに於ては
世学的、母、頭腦は
士官候補生以下
ナリと断せしるを
得ず

◎ 6.29.
船中、加藤司令官に
於て、仲絶作裁、依
裁、裁断に於て、道
徳、年長、老練、
高級判事、依裁判事

1/2

八月九日(水)

夕方に後御所へ参り
夕方に御所に参り

午後御所へ参り
に参り、御所へ参り
に参り、御所へ参り
に参り、御所へ参り
に参り、御所へ参り
に参り、御所へ参り

夜御所へ参り
に参り、御所へ参り
に参り、御所へ参り

八月十日(木)

参り

◎ 6.30.

高橋御所へ参り
に参り、御所へ参り
に参り、御所へ参り
に参り、御所へ参り
に参り、御所へ参り
に参り、御所へ参り
に参り、御所へ参り
に参り、御所へ参り
に参り、御所へ参り
に参り、御所へ参り

100

八月十一日(金)

夜、安延光寺以下

海軍幕僚と共に会食

下

予かおらに方面軍より

補佐に因り中央に

電せらる。莫らば6FA

若し予に之んこと

下

八月十一日(金)
海軍幕僚と共に会食
予かおらに方面軍より
補佐に因り中央に
電せらる。莫らば6FA
若し予に之んこと

八月十二日(土)

◎7.1 也投温早に花乙

都長

押込作死機密

U法-整理

下

夜、村沢若澤信

令に到り、後山花

に之ら返す

下

◎7.2 朝方面軍に到り

6FA若澤に補せ

らたに之ら知り

喜ぶ。北土半掃

114